評価のポイント

CL-4.看護実践能力：意思決定を支える力
［43-4］患者と家族の意思決定支援：意思決定プロセスの促進と医療チーム、その他の資源の活用

1．コンフリクトが発生するのはどのような時でしたか？

人はそれぞれに価値観を持っていて、一つの事象に対して、異なる価値観を持つことは当然である。どちらも間違った価値観でない時にコンフリクトは生じる。どちらも間違っていないのだが、対立構造があるときコンフリクトが生じているというのだということを理解してもらえると良い（資料4）。

2．コンフリクトの解消方法として望ましい方法はどのようなものでしたか？

コンフリクトの解消方法にはどのような方法があるのか、タイプと特徴を理解することから始めると良い。それぞれのタイプの解消方法がどのような時に望ましいのかをディスカッションしてみて欲しい。今回の事例では、協調的アプローチが望ましい解消方法であったが、それはなぜなのかも考えてみるように促して欲しい（資料7）。

3．本事例では医療者間のコンフリクトが明らかになったので多職種カンファレンスを開催することになり、あなたはその司会を任されました。どのようにカンファレンスを進めますか？

どのようなカンファレンスであっても事前の準備が大切である。今回は多職種カンファレンスである。話し合う内容は資料10に示している。多くの職種の意見を取り上げること（発言の機会を与える）、出た意見をまとめること、意見が対立している時にはどうすれば皆が納得できる結論で合意できるのか、それをファシリテートしていくのが司会の役割である。実際に模擬カンファレンスを行ってみて、その後ディスカッションしてみるのも良い。